



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 「Y' s Men with the World' 」 「世界とともにワイズメン」
 スローガン 「Heal the World with Love and Dignity」 「愛と尊厳で世界を癒そう」
 アジア太平洋地域主題 「Make a difference」 「変化をもたらそう」
 西日本区理事主題 「Challenges for the future 未来への挑戦」
 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」
 クラブ会長主題 「YMCAに笑顔。ワイズに笑顔。そしてみんなに笑顔を」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2021年8月

—＜今月の聖句＞—

イエスが座り、十二人を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」
 マルコによる福音書9章35節

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2020-2021.pdf>

2021年8月例会・他ご案内

@8月第1例会・WEB例会(担当 服部)

と き：8月12日(木) 20:00～

ところ：ZOOM例会

- ・クラブ30周年事業について
- ・名古屋YMCA創立120周年について
- ・日和田キャンプ場開設40周年について

@2021年度日和田学童キャンプ支援

と き：2期8月2日(月)～8月7日(土)

ところ：YMCA日和田高原キャンプ場

注：ボランティア開始 2週間前から体調の管理、感染 リスクの高い場所へ行くことを控えてください。

@8月第2例会・WEB例会(担当 服部)

と き：8月19日(木) 20:00～

ところ：ZOOM例会

7月例会	例 会 出 席 状 況				B F ポイント		クラブファンド(月)	
	在 席 者	15 名	第 1 例 会	13 名	当 月 ・ 切 手	-	ニコ BOX ノート	-
	例会出席者	13 名	第 2 例 会	10 名	当 月 ・ 現 金	-	感 謝 ファンド	-
	当月出席率	87 %	そ の 他	3 名	累 計	-	累 計	-

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

第1例会・オンライン例会議事録

日 時：7月8日（木）20:00～21:30

場 所：ZOOM 例会

出席者：服部、信田、荒川、三井、坂口、遠藤、
早川、高田、坂野、松原、吉田、阿部

欠席者：青木、原

書記：下村 明子

「内容」

1 キックオフ例会（進行：服部会長）

2021—22 年度最初の第1例会、恒例の前期決算報告から始まり、今年度のクラブ主題「YMCA に 笑顔を。ワイズに笑顔を。そしてみんなに笑顔を。」が発表され新年度が始まりました。今年も数々の行事が予定されていますが、大きな課題は来期のクラブ 30 周年にむけて、どのようなことができるか模索することです。まずとっかかりとして出された、皆の意見は様々であり、今後時間をかけて集約していくこととなりました。コロナ禍の中、今年度も前半はリモートによる例会となることは必至です。そんな中でもクラブにかかわるすべての人が笑顔になれるよう、活動を続けて行きたいと思えます。それにはクラブ全員の協力が不可欠です。よろしくお願いいたします

① 前期決算報告（服部前期会計）

【資料】2020-21 決算参照

- ・質疑など特になし。

② 会長引継ぎ：バッジ交換 （オンライン上で新旧会長がゼスチャー）

③ 新年度方針（服部会長）

【資料】2021-2022 会長挨拶参照

- ・そろそろ対面で活動がしたい
- ・日和田は引き続き支援を行なうが他クラブを巻き込みたい
- ・セカンドハーベスト支援
- ・クラブ役員紹介（服部会長）

【資料】2021-22 クラブ役員参照

④ 今期予算（早川会計）

【資料】2021-22 予算参照

- ・会場費は計上されていないが、YMCA と相談して計上する。

⑤ 年間行事予定（服部会長）

【資料】2021-22 年間計画参照

- ・第一例会
（対面で卓話等イベントを行ないたい）
- ・第二例会（オンラインで行なう）
- ・中部部会と YMCA 大会には積極的に参加をしてほしい。
- ・南山バザーは幼稚園のみで開催する可能性もある。現在未定。
- ・チャリティーランの日程が例年と変更になっている。
- ・YMCA120 周年に何かイベントを開催したい。
（グランパス 30 周年を兼ねる）

- ・東北ツアーと DBC 交流会は仮予定。
交流会日程は東稜クラブと話しあう。
（東稜クラブ今年度の担当は佐藤ワイズ）
 - ・秋に YMCA の街頭募金がある予定。開催日程は未定。
- #### 2 YMCA より（遠藤主事）

- ・7月10日～11日（土・日）
オープニングワーク（25名参加）クラブからは荒川、信田、吉田各メンが参加。
 - ・秋の行事については決まり次第連絡します。
- #### 3 クラブ30周年事業について（吉田）
- ・2022年8月31日（チャーターから30年）
 - ・日和田キャンプ場開設 40 周年記念募金の提案（キャンプ場の老朽化に伴う再生開発に必要な諸活動が目的）：募金を含め、YMCA に寄付を提案してはどうか。
 - ・募金は日和田キャンプ場に思い入れのある人達へ呼びかけをする。
 - ・記憶に残る事業を行ないたい。
 - ・キャンプ場の有効活用を YMCA と一緒に考えていきたい。

＜提案(3)についての意見＞

- ・今後のクラブ活動のためにファンドを少しは残しておきたい。
- ・YMCA が考える日和田キャンプ場への将来計画を聞く必要があるのではないかな。
- ・方向性を中村総主事に伺いたい。
- ・リーダーやリーダーOBOG に参加を呼び掛けてはどうか。
- ・根の上キャンプ場は力を注いで改修したが、有効に使われているのかどうか。
- ・まずはたたき台を提案してから、クラブで話し合ったほうがよい。
- ・キャンプ場あつての YMCA である。若者の将来への希望が生まれる。
- ・皆のお金であるファンドは有効に使いたい。
- ・キャンプ場への思い入れには人それぞれ温度差がある。メンバー個々の素直な思い入れを聞いてはどうか。
- ・第二例会（22 日木曜日）に一度話し合いの場を持ちたい。

4 7月第2例会 7/22（木）

8月第1例会 8/12（木）

第2例会・オンライン例会議事録



日 時：7月22日（木）20:00～21:30

場 所：ZOOM 例会

出席者：服部・荒川・三井・高田・早川・原・坂野
下村・松原・吉田

欠席者：青木・阿部・信田・遠藤・坂口

書記：下村 明子

「内容」

1 協議「クラブ 30 周年事業」について

- ・クラブ全体の話し合いのみではなかなか進まない。委員会を作って話し合ってはどうか。
- ・アンケートを取ってはどうか。取るのであればどのような内容にするのか。
- ・クラブの周年と名古屋 YMCA の周年は別で考えるべき。
- ・クラブとして周年記念に何をしたいのかをメンバー個々から意見を募るべき。
- ・最初からルールを敷かずフリーな発言ができる状態で、クラブの周年記念に何をしたいのかを話し合ってはどうか。
- ・一度皆で対面でのミーティングをしたい。オンラインでは話も煮詰まらない。
- ・日和田キャンプ場への支援は一案であり、話し合いにより変更しても構わない。誰かが何か提案しないと事が始まらないので。

※次回の8月例会までに三役にてアンケートを作成し、話し合いの材料を準備する。

2 西日本区、中部より連絡事項（服部会長）

- ・アジア太平洋地域憲法の改正について（アジア太平洋地域より）メールが届いたので服部会長よりメンバーへ配信する。
- ・ヘアドネーション（メネット事業）について31センチ未満は集まったが、31センチ以上の長髪を募集している。
- ・8月7日～8日にアジアユースコンボケーション開催。アジア大会は台湾。オンライン開催もあり。大会参加メンバーは服部会長まで。
- ・余島シニアキャンプ（神戸 YMCA）のお知らせあり。希望者は服部会長まで。
- ・中部部会（9月11日：日和田）の参加申し込みはクラブ単位にて。料理長坂口ワイズ。13時～16時。部会チラシは服部会長よりメンバーへ配信する。

※その他3.を確認してください。

3 YMCAより（遠藤主事）

- ・遠藤主事、欠席により連絡事項はありません

4 DBC東稜クラブ交流会について（松原君）

- ・東稜クラブからは秋の開催を提案されたがコロナの影響もあるため、来春にしたいとの希望を伝えた。

5 今後の行事準備について

- ・YMCA 学童キャンプ 7/26—31（一期）
8/2—7（二期）

厨房サポートについて一期は5名で何とか足りているが、二期が足りない。1日でもよいのでサポートをお願いしたい。

- ・中部部会（日和田キャンプ場）9/11（土）

- ・名古屋 YMCA 大会 9/25（土）
オンライン開催の予定
- ・国際街頭募金 10/10（日）金山にて予定
10/17（日）刈谷にて予定

6 その他

- ・ブリテン：第一例会（服部会長・下村）／第二例会（下村）／日和田オープニングキャンプ（荒川）／YMCA たより（遠藤）／学童キャンプ（一期：荒川）／ワイズコーン（吉田）
その他（松原）※切は7月28日（月）厳守
- ・チャリティーラン実行委員会：8月3日（火）開催。

7 8月例会

- ・第1例会 8/12（木）第2例会 8/19（木）

日和田オープニングキャンプ



開催日：2021年7月10日～11日

場 所：御嶽日和田キャンプ場

参加者：荒川、信田、吉田

食材（魚）提供：坂口

荒川恭次

例年のプログラムですがキャンプシーズンを始めるための準備に集まったリーダー達をサポートしました。今回はリーダー、OB・OG、Y職員総勢30名と若者集団ではとても出番のない状況でしたが、キッチンに入れば信田君をリーダーに坂口君差し入れの魚をさばいて、美味しい魚料理を提供できたと思います。美味なお酒も加わり話に花が咲き、静かな日和田の夜が賑やかな場になっていました。



トーチサービスの練習風景

この2日間で今シーズンのキャンプ場の環境準備は全て終えて、早速始まる親子キャンプの準備がされていました。新型コロナ禍で外出も制限される中、広大なキャンプ場は安心サイトのように沢山の申込みがあったようです。そしてそのあとには学童キャンプが待っています。シーズンが始まります。

さて、今回は素晴らしい発見がありました。これまで毎回通っていた R361 にイタリアレストランがありました。美味しいピザとパスタはこれから楽しみにします。



雨天のため室内ファイヤー



花猿亭 (kaentei) はイタリア国旗が目印

学童キャンプ第Ⅰ期レポート



開催日：2021年7月26日～31日

場所：御嶽日和田キャンプ場

参加者：荒川、坂口メネ、吉田

サポーター：常川シジミさん、林さん、渡辺さん

荒川恭次

7月26日～31日。2021年度第Ⅰ期学童キャンプが開催されました。今期は昨年と同様にⅠ期とⅡ期の2回の開催ですが、キャンパー数が各30名と昨年より多く、第Ⅰ期はスタッフ含む総勢39名の食事を提供しました。私と吉田さんは25日(日)より現地入りしましたが、キャンプ場付近で集中豪雨に見舞われ入口ゲートのロープも外すことが出来ず車中待機のところ、草刈に来ていた松坂さんにゲートロープを外していただき難を逃れました。その先のキャンプ期間の天気が心配されましたが大きな崩れは無く、子供たちは大自然の中で十分キャンプを楽しんだようです。

さて、キッチンサポーター陣営は吉田一誠さん、坂口公美さん、林敦子さん、常川里美(シジミ)さん、そして私と交替で渡辺慎吾さんと例年の精鋭が担当しました。朝6時30分からの朝食準備、10時30分からの昼食準備、16時からの夕食準備とこれまでの経験がフルに生かされた効率の良い作業で、美味しい食事が提供出来たと思います。その証拠に料理は毎回ほぼ完食で子供達は毎回お代わり続出と残さず食べてくれました。標高1300mの緑豊かな涼しい環境が食欲を倍増させるようです。

何のために日和田に行くのか。それは子供たちにパワーをもらうためです。日和田の高地トレーニング標高では当初は息苦しさを感じますが、慣れるに従いどんどん体調が良くなり、子供たちと接することでメンタル面が改善されモチベーションアップとなるようです。どんなトレーニングよりも効果絶大です。第Ⅱ期も参加し猛暑の名古屋から逃げ出す予定です。

YMCAたより

7月26日から学童キャンプが始まりました。30名の子どもたちが元気いっぱいぴのぴと、日和田の自然を満喫しております。雨の多い1週間でしたが、晴れ間を見つけて外で遊び、目の間のことに一生懸命な子どもたちの姿はとても素敵なものです。食事でも毎回気持ちの良いほどたくさんいただき、ボランティアのみなさんのおかげで子どもたちの健康が守られました。ありがとうございます。そして、野外料理では三井さんが制作してくれた、カレー用のかき混ぜるしゃもじも大活躍でした！



名古屋グランパスクラブ
担当連絡主事 遠藤美恵子

今後の予定

- ・9月第一例会 :9/2 (木)
- ・9月第二例会 :9/16 (火)
- ・2期日和田学童キャンプ :8/2～7 (月～土)
- ・中部部会 at 日和田高原 :9/11 (土)
(参加要領についてはその他3.参照)
- ・名古屋 YMCA 大会 :9/25 (土)

そ の 他

1. 8月の誕生日

happy birthday

坂野 信子 (1日)
吉田 一誠 (7日)
阿部 一雄 (8日)
信田伊知郎 (15日)



2. 日本語学院留学生支援物資応募依頼

- ・マスク・フェイスシールド/材質・サイズ問わず
- ・体温計 仕様・タイプ問わず
- ・エタノール製剤(35%以上含有品)、
- ・界面活性剤成分含有製品、
- ・次亜塩素酸水(80ppm 以上品)
- ・除菌用ウェットティッシュ
- ・使い捨て手袋(食品衛生法適合品)
- ・その他、留学生へ支援となるもの
- ・インスタント麺、缶詰、乾燥品等らとその他、日持ちする食品類。

※ 遠藤担当主事へ各自持参してください

3. 2020-2021年度 中部部会案内第2報

・中部部会参加要領



2021-2022 中部部会案内(第2報)

コロナ感染の拡がりが収まらず、緊急事態宣言の延長が決まりましたが、部会は、ワイズメン、メネットが一堂に集い、親睦を深め、ワイズの未来を語り合う とても意味深いプログラムです。秋には、コロナ感染も一定程度収まるものと信じ、準備をすすめております。一人でも多くの皆さんの参加で盛り上げて頂ければと願っております。

部会テーマ 楽しくやろう 大自然の中で YMCA と共に

■日 時 2021年9月11日(土) 午後1時~4時

■会 場 名古屋 YMCA 日和田高原キャンプ場

(岐阜県高山市高根町日和田 1752-71) 木曽福島駅から送迎あり

■主な内容 式典、野外料理、ユースと共にアクティビティ

YYY フォーラムとして実施、また、野外料理は産直品をつかった手作り料理がお楽しみ

■登録費 6,000円



2021-2022 中部部長 渡辺 真悟
ホストクラブ:名古屋クラブ 協力:名古屋 YMCA、名古屋東海クラブ、名古屋南山クラブ
名古屋グランパスクラブ・金沢クラブ・やまクラブ

※ 詳細につきましては、裏面をご覧ください ※

4. 例会等出席状況

	氏 名	7 / 8 第一例会・WEB例会	7 / 22 第二例会・WEB例会	7 / 10・11 日和田OP CP	7 / 26~31 学童 CP 支援
1	青木 哲史				
2	阿部 一雄	○			
3	荒川 恭次	○	○	○	○
4	遠藤恵美子	○		○	○
5	坂口 功祐	○			
6	信田伊知郎	○		○	
7	下村 明子	○	○		
8	高田 士嗣	○	○		
9	服部 庄三	○	○		
10	原 晃		○		
11	早川 政人	○	○		
12	坂野 清治	○	○		
13	松原 行謙	○	○		
14	三井 秀和	○	○		
15	吉田 一誠	○	○	○	○
	ゲスト				3
	計	13	10	4	6

学童キャンプの出来事です。



子供たちがメニューを書いてくれました。



フルーツよりも甘・見・い、トウモロコシ

ワイズコーン

8本入

2,800

円(税込・送料別) 16本入 5,500円 24本入 8,100円

ワイズコーンの販売による収益金の一部は、名古屋YMCA「学童キャンプ支援会」として
献金させていただきます。

発 行 2021年8月15日(日)まで **発 送** 8月中旬～9月中旬

お申込み方法 裏面発注書にご記入いただき、FAXもしくは下記メールアドレスに発注書
を添付し、お申込みください。

お申込み先 **vci-yoshi@nagoyaymca.org**
FAX 052-757-3332 (名古屋YMCA内 吉田 一誠 宛)

お支払い方法 請求書をお送りしますので、請求書に基づきお支払いください。

お申し込みは下記サイトの用紙をご利用下さい。

[2021yscorn.pdf \(ys-chubu.jp\)](#)

ワイズコーン発注書

このご注文用紙にご記入の上、FAXまたはメールに発注書を添付し、お申込み下さい。

メール vci-yoshi@nagoyaymca.org

FAX 052-757-3332(名古屋YMCA内 吉田 一誠 宛) TEL 052-757-3331

8 本入：2,800円 **16** 本入：5,500円 **24** 本入：8,100円

ご依頼主	お名前						
	ご住所	〒					
	TEL				FAX		
	E-mail						

送り先 ※〔ご依頼主〕と〔送り先〕が同じ場合は「同上」とご記載ください。

1	ご住所	〒					
	お名前						
	TEL		数 量	本入り	箱	金 額	円

2	ご住所	〒					
	お名前						
	TEL		数 量	本入り	箱	金 額	円

3	ご住所	〒					
	お名前						
	TEL		数 量	本入り	箱	金 額	円

合計数量	本入り	箱	合計金額	円
------	-----	---	------	---

※予約順や天候・生育状況により、発送日が異なる場合があります。
※お支払いは後日ご請求書をお送りいたします。

送 料 (単位：円)

	北海道	北東北	南東北	関 東	北信越	中 部	関 西	中 国	四 国	九 州	沖 縄
8本入	1,900	1,200	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000	1,100	1,200	1,200	2,100
16本入	2,200	1,500	1,400	1,300	1,300	1,300	1,300	1,400	1,500	1,500	2,800
24本入	2,800	2,000	1,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,800	2,000	2,000	3,600

※価格は全て税込

2030 未来への分岐点

飽食の悪夢 水・食料をめぐる危機 ①

松原 行謙

繁栄を追い続けた未来に待っているのは食料をめぐる悪夢だ。今、人類が抱える様々な課題。最新の科学は 2030 年頃に限界に達すると警告しています。資源の大量消費、人口爆発と食糧問題、そして加速する温暖化。あくなき人間の活動は人類の運命を左右し始めています。さらに急速に進化するテクノロジー、使い道を誤れば大きなリスクになる可能性があります。今回は水・食料をめぐる危機を乗り越えるための道筋を探ります。



今、世界中で食糧難に陥る人々が急増。国連は飢餓が拡大していると警告しています。その最大の要因は日本など先進国で続く食料資源のあくなき浪費。日本で食べられるのに捨てられる食品を世界に分配すれば2億人近くの飢餓を解消できるといわれています。そして豊かさを過剰に求める食料システムが大地に負荷をかけ続けています。今後、地球温暖化や土地の荒廃によって危機は深刻化していきます。2050年、人口100億となる世界。食料資源の激しい偏りが紛争の連鎖を生むことも明らかになってきました。水・食料クライシスが現実化しようとしています。私達には関係のない世界か？ きっと私たちは後悔することになる。私たちのこの飽食が食料システムを崩壊させます。

アメリカ ニューヨーク 2020 年去年の夏、住宅街の一画に長い行列ができました。最低限の食料を買うことが出来ない人々が支援を求めているのです。こうした食糧支援が必要な人々は全米で 4200 万人に上るといわれました。寄付で食糧支援を行う団体は大都市でこんなことが起きるとは想像しなかったといいます。世界各国に広がる新型コロナウイルスの脅威。その陰で今、地球規模で食糧難に陥っている人々が急増しています。国連が飢餓のパンデミックと警鐘を鳴らした危機、8 億の人々が飢餓状態であると見られています。一方私たちの暮らす日本は依然として世界一ともいわれる飽食を謳歌しています。「今、僕たちは普通の生活をしていてあまり食糧に困っている実感がないので、イメージが湧きづらいなと言うのが正直なところです。」「食糧がなくなるというのは非常に怖いことだろうとは思いますが、でもそういったのはあまり普段考えたことないので豊は豊かなのですね。」・・・

食品廃棄物を受け入れ豚の餌に加工処理をしている工場です。ここには毎日 35 トンもの廃棄された食品が持ち込まれます。スーパーやコンビニなどから出た大量の食品。まだ十分に食べられる食品がほとんどで、賞味期限内のものも少なくありません。常に 365 日 24 時間お弁当とかおにぎりがコンビニとかに並んでいますよね。このためにはどうしてもフルタイムで作り続ける。何時でも何でも食べられるというところの裏側にこういったものがある。日本で生産から流通、消費段階で発生する食品ロスは年間 612 万トン、これは国連などが世界各国で行っている食糧支援のおよそ 1.5 倍です。飽食と飢餓、今世界は 2 つに切り裂かれているのです。

こうした現状に危機感を抱いてきたのが SDGs の問題に取り組んできた国谷裕子さんです。「豊かな国々はおいしいものを食べながら大量の食品を捨てています。一方厳しい状況で食糧生産を強いられ満足な食事も得られない人々が数多くいます。食糧支援の最前線でこの現状をどう見ていらっしゃいますか?」。国連世界食糧計画 WFP 事務局長は、世界食糧危機の背景にはこの世界がはらむ大きな矛盾が存在すると指摘します。「今、地球上では世界の全ての人々を食べさせるために十分な食糧が生産されているということは大切な事実です。しかし現在の食糧システムは持続可能ではありません。ひとたび何らかのショックが加わると貧しい人々はすぐにその代償を払わされます。新型コロナはすでに脆弱だったシステムをさらに悪化させたに過ぎないのです。」去年、世界全体で生産された穀物は 26.7 億トン（1970 年 10 億トン）、過去最高を記録しましたこれを現在の人口で割ると 1 日およそ 2350 KCal です。生存条件とされる十分な食糧が生産されていました。しかし世界の飢餓人口はパンデミックの 6 年も前から上昇し続けているのです（2014 年 6.5 億人 2020 年 8 億人）。WFP 事務局長が指摘する持続可能でない脆弱な食糧システムを現代人が大量消費する肉を通して見ると、自然に大きな負荷をかけている実態が浮かび上がってきました。第 2 次大戦後世界中に広がった肉食（1961 年 5 千万トン→2021 年 3 億トン）。世界の肉の消費量は年々増え続けています。その需要を支えるアメリカ中西部カンザス州の畜産場です。650 万頭におよぶ大量の食

肉牛が育てられ年間 280 万頭を生産しています。牛のエサとして与えられているのは大量のトウモロコシ。牧草にくらべ経済効率が高く肉の大量生産が可能になります。

牛肉 1 kg の生産には 6~20kg の穀物が必要だといわれています。世界の食肉生産量は 2 億 5 千万トン。それをまかなうために世界で生産される穀物の実に世界の穀物の 3 分の 1 が使われています。そして穀物などを増産するために森林伐採などの環境破壊が世界中で続けられています。食肉需要を支える穀物。それを育てるために必要となるのが膨大な水です。しかし今、穀倉地帯の大地に不気味な異変が起きています。



カンザス州の広大な穀倉地帯。丸い部分は全てトウモロコシ畑です。この地域は地下水に頼って家畜に与える大量のトウモロコシを生産します。センターピボットと呼ばれる大型の機械を使い地下から水をくみ上げて散布しています。大きな川もないこの一帯ではオガララ帯水層と言われる膨大な地下水

が唯一の水源でした。しかし近年その帯水層の枯渇が進んでいます。州の調査員が井戸に石を一つ落とします。水が跳ねる音が聞こえません。危機的状況なのが分かります。今、帯水層の水はあと 30m 分しかありません。このままのペースではあと 10 年で地下水はなくなります。トウモロコシを育てる水はなくなるのです。今、こうした地下水の枯渇は全世界に広がっていることが最新の研究で明らかになってきました。地下水がいつまでもつのか？地下水の過去の汲み上げ量とその周辺の河川の水量からいつ限界に達するのか分析しました。その場所は 2030 年から急増、2050 年には世界の 7 割の地域で地下水の枯渇に直面するのです。例えばカルフォルニア・セントラルバレーでは 2030 年にまた中西部のパイプレーンズでも 2050 年までに地下水が枯渇する可能性が高いと分かったのです。同様の現象が南ヨーロッパやインド・パキスタンでも起こります。ですから今後数十年の間に水の枯渇に世界中が直面するのです。実際には水の需要は近年益々増加しています。ですからおそらく現実の影響は予測よりさらに大きくなりもっと悪くなるでしょう。地下水の枯渇は周囲に川がある場合さらに深刻な事態を引き起こすこともわかってきました。川から地下へ水が逆流することで川の水まで枯渇するのです。今、全世界の水の 7 割は農作物の生産に使われています。肉の大量消費が自然を破壊するだけでなく水不足も引き起こしているのです。

．．．．つづく